

活動報告書

2024年9月 市川素

ようやく夏が終わり、秋の匂いがしてきました。お蚕シーズンも終盤戦です。

今月の主な活動

初秋蚕から晩秋蚕までは3週間程度時間が空くので、お蚕さんを迎える準備や下仁田ネギの管理作業のほか、近隣の農家さんでちょっとした研修を受けさせていただきました。ナスの誘因作業や、秋冬野菜の苗の消毒、定植作業を行いました。これまでもいくつかの農家さんのもとで研修を受けさせてもらっていますが、人それぞれの作業方法や考え方がありいつも勉強になります。これからもできるだけ多くの農家さんのもとを訪れ、多くのことを吸収したいと思いました。



9月中旬からは晩秋蚕が始まりました。春に次いで気候が良いこの時期はよい繭が取れるといわれていますがここ数年は異常な暑さにより、収量が伸びないことが問題となっています。今年も配蚕日から数日は真夏日が続き、その影響もあってか、私の繭も小ぶりになってしまいました。今回はぐんま黄金という黄色い糸を吐く蚕を初めて飼育させてもらったのですが、いつも飼育しているぐんま200に比べ、成長が若干早いという特性

もあり、上族日を直前で早めるなど、どたばたとしたシーズンになってしまいました。



そして9月30日からは今シーズン最後の晩秋蚕がスタートしています。本当に蚕が始まると、1日がすぎるのがあつという間です。最終シーズンもよい繭が出荷できるように精一杯頑張りたいと思います。



○ご紹介

Facebookの富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)